



令和3年度

坂井市立東十郷小学校スクールプラン

学校教育目標

自ら考え、実行する児童の育成

目指す児童像

元気な子

素直な子

学ぶ子

《さとのこ》 さわやかに ともと のびよう こんきよく
(郷の子) (友と) (伸びよう) (根気よく)

児童の実態

- 「学校が楽しい」と答える児童が多い。
- 明るく素直な児童が多く、元気に、一生懸命、活動に取り組む。
- △校内での挨拶や言葉遣いについては向上しているが、校外(地域)では不十分である。
- △家庭学習の時間が短く、読書量・読書時間が少ない。
- △テレビや動画の視聴、ゲーム等の時間が長く、就寝時刻が遅い傾向がある。

重点目標

【確かな学力】

- ・「楽しく・わかる」授業づくり
- ・ICT機器を用いた情報活用能力の育成
- ・読書活動の推進

考える！

【たくましい体】

- ・基本的生活習慣の定着
- ・健康教育の推進
- ・体力づくりの充実

鍛える！

【豊かな心】

- ・温かい集団づくり(魅力ある学校づくり)
- ・ポジティブ教育の推進
- ・道徳教育・人権教育の充実

つながる！

【地域に根ざした学校】

- ・教育活動の発信
- ・家庭・地域との連携
- ・地域資源の活用、ふるさと教育の推進

伝える！

具体的な取組

- ◎授業や課題の工夫、学習環境の整備、個に応じた支援の充実等を通して、「引き出す教育」「楽しむ教育」を推進する。
- 「主体的・対話的で深い学び」に向かう授業研究を進め、全教員が授業を公開して参観し合う。
- 振り返り学習や定期的な漢字・計算テスト等を通して、基礎・基本の定着を図る。
- ◎学年に応じた情報活用能力の育成に向けて、ICT機器を有効に活用する。
- ◎全校朝読書、家庭での読書時間の設定や親子読書、図書館の活用などを通して、読書活動を推進する。
- 「家庭学習の目標時間」「ノーテレビ・ノーゲームデー」の設定など、家庭と連携しながら「家庭学習の習慣化」を図る。

- ◎「にこいきチェック」や保健ファイル等を活用して家庭と情報を共有し、健康教育・安全教育の充実を図る。
- ◎うがい・手洗い・マスク着用・換気等の徹底によって、感染症予防の習慣を継続させる。
- 委員会活動や家庭との連携を通して、「早寝・早起き・朝ごはん」の定着や「栄養・マナー」を柱とした健全な食生活の推進を図る。
- ◎「いきいきタイム」での体力づくりや外遊びを推進する。
- 体育の授業や体育的行事等への意欲付け、工夫などを通して、運動の楽しさを味わわせるとともに、体力の向上を図る。

- ◎道徳や特別活動等を通して、一人ひとりを大切にしたい、居心地のよい温かい学級づくり・集団づくりを行う。
- ◎ポジティブ教育に取り組み、自ら幸せを創り出していく力を育てる。
- ◎道徳教育・人権教育を充実させ、思いやりの心・感謝の心を育む。
- 「いじめ防止基本方針」に基づく「未然防止・初期対応・自立支援」の取組を充実させる。
- 異学年交流活動、特別支援教育(理解教育)、音楽教育等を通して、豊かな心を育む。
- 「十郷っ子スマートルール」を見直し、家庭と連携しながら、ネット利用の仕方や情報モラルの定着を図る。

- ◎学年だより・学校だより・HP等を通して、広く情報を発信する。
- 感染症対策をとりながら、保護者や地域住民に、学校行事や授業を公開する。
- 授業やクラブ活動、読み聞かせ、学校行事等で地域の支援や協力を得ながら、体験活動の充実を図る。
- ◎地域資源を活用したふるさと教育・キャリア教育を推進し、「夢と希望」「ふくい愛」を育む。
- 地域との連携を図り、地域ぐるみで子供たちの安全を見守る。(登下校、遊び)
- 保幼小・小中・小高の連携・交流を、効果的に取り入れる。
- 学校評価の結果を教育活動の改善に生かす。

数値目標

- ・「授業がわかる」と答える児童90%以上
- ・家庭学習に取り組む児童90%以上
- ・年間読書冊数(読書の記録)平均30冊以上

- ・朝ご飯を食べてくる児童100%
- ・「早寝・早起き」を心がけている児童95%以上
- ・進んで運動する児童90%以上

- ・「学校が楽しい」と答える児童100%
- ・進んであいさつができる児童90%以上
- ・時と場に応じた言葉遣いができる児童80%以上

- ・「学校は保護者や地域への情報提供を十分行っている」と答える保護者90%以上
- ・学校公開日の保護者来校80%以上
- ・児童の安全確保100%



児童の笑顔と幸せのために・・・



【業務改善のための取組】

- ・会議等の計画的な実施(時間の目処の提示、企画委員会や担当者会等での事前協議の充実)
- ・教員の退庁時刻の設定および働き方の見直し(超過勤務 月45時間以下)
- ・校内LAN活用による事務処理の迅速化および会議のペーパーレス化の推進